

糖尿病内科での診療看護師(NP)の実践報告と考察
～糖尿病専門医とともに診療に携わる意義と今後の可能性～
に関する研究

1. 研究の対象

2024 年 4 月～2024 年 6 月に当院糖尿病内分泌内科に入院された方

2. 研究目的・方法

目的：当院では 2022 年 4 月から診療看護師(NP)が活動を始め、1-2 年間の卒後研修を終えた後に所属する診療科を選択しています。当院、他院を問わず研修先や所属先として選択されるのは心臓の治療に関する診療科や手術が行われる診療科、また救急科が多い傾向にあります。しかしながら、糖尿病は日本人の約 5 人に 1 人が罹患もしくはその予備軍であるといわれる病気であり、血糖が高いことで手術後の回復が遅くなったり、感染症に罹るリスクが高くなることもあります。そのため、当院のように糖尿病専門医が常勤している病院では、血糖値を良い状態でコントロールできるように様々な診療科と連携しています。今回、診療看護師(NP)が研修先として当院糖尿病・内分泌内科を 3 か月間(全 6 か月間)専攻し、糖尿病専門医とともに入院患者さんの診療に携わりました。当院で初めての糖尿病・内分泌内科で卒後研修を行った診療看護師(NP)としての実践報告と今後の可能性について考察します。

方法：2024 年 4 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日まで、秋田大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科で糖尿病専門医のもとで研修した診療看護師(NP)の実践報告、指導医師による診療看護師(NP)についてのアンケート、診療看護師(NP)の所属していないチームとの平均在院日数の比較から、糖尿病内科で診療看護師(NP)が卒後研修を行なう意義や専従することでの診療看護師(NP)としての今後の可能性を考察します。

研究実施期間：研究実施許可日～2024 年 11 月 30 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2024 年 9 月 30 日(研究実施許可日)

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：入院期間、性別、年齢 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：秋田大学医学部附属病院 NP 室

氏名：江森 大樹

住所：秋田市広面字蓮沼 44-2

電話：080-4915-9843

研究責任者：秋田大学医学系研究科保健学専攻看護学講座 教授 安藤秀明

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽渕 友則